

# 学級内所属集団の階層性と抑うつ尺度、自閉症スペクトラム 指数の関係に関する研究

研究担当者 名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻 3年 山本浩之

## 1. 研究の概要

若い世代における精神病理の背景には、学校での友人関係における固定した階層性が存在するのではないかと考えられる。大学は階層性が顕在化しにくい状況である。しかしながら、抑うつ性の高いこと学生も一定数存在することが指摘されている。学生の抑うつ、自閉傾向と階層性の関係調べることで、教育現場における心理的サポートの必要な学生や生徒を判別する指標として有用であるか検討することを本研究の目的とする。

## 2. 研究方法

対象者：名古屋大学の学生 150名

調査方法：対象者に Google 社のアンケートフォームを用いた連結不可能匿名式のアンケートを実施する。メーリングリストその他でアンケートの URL を配布し、アンケートフォームを送信してもらう。アンケートには研究内容と目的を明記した説明書を付け、同意を得られた場合に回答後のアンケートフォームを送信してもらう。回収したデータは回答内容以外の情報は得られず、研究終了後にアンケートフォームを作成したアカウントとともに破棄する。

研究デザイン：本研究は横断研究の形を取り、健常な大学生を対象とする質問紙法であり学習集団内の階層性と自閉的傾向及び抑うつ傾向の調査を行うものである。アンケートフォームは基本属性（性別）及び階層性、抑うつ尺度、自閉症スペクトラム指数の3段階で構成される。抑うつ尺度、自閉症スペクトラム指数の質問紙はそれぞれ、抑うつの評価スケールである SRQ-D (Self-Rating Questionnaire for Depression) と短縮版自閉症スペクトラム指数 (The Autism-Spectrum Quotient Japanese, AQ-J-10) を一部改変を行い使用する。

## 本研究への問い合わせ先

研究責任者 名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻  
教授 飯高 哲也

〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

TEL/FAX 052-719-1367

メールアドレス iidaka@met.nagoya-u.ac.jp

研究担当者 名古屋大学医学部保健学科作業療法学専攻  
3年 山本 浩之